

事業概要書

予算科目	款	1	項	1	目	2	中事業名	器械備品購入費		
事業名等	電子カルテシステム更新							予算計上額	188,579 千円	
概要	<p>現在導入している電子カルテシステムが耐用年数(ソフトウェア5年、サーバー6年)を経過しており、部品交換等の故障に対応できない状況であるため、令和6年度に電子カルテシステムの更新を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システム: 電子カルテシステム、医事会計システム、介護支援システム、健診システム、診断書作成システム、臨床検査システム(各1式) ・機器類: デスクトップPC、ノートPC、iPad、プリンタ、診察券発行機 ・透析通信システムなどの既存システムへの接続費用 ・データ抽出費用 									
目的	<p>電子カルテシステムを更新することで、今までどおり各担当職員が患者情報を一括して管理することができ、業務に要する時間の縮減や患者への医療サービスの向上につながる。また、新しい機器(クラウド)へ入れ替える事で、故障して診療業務が中断するリスクもはるかに軽減されつつ、システムトラブルが発生してもクラウド方式を採用するため、24時間対応により短時間でトラブル解消を踏まえ、患者への影響を最小限にとどめることができる。</p>									
必要性	<p>耐用年数を超える電子カルテシステムを計画的に更新していくことで、職員の業務の効率化と市民病院を利用する患者やその家族に対して、安心して医療サービスを提供できる。</p>									
計画	<p>令和6年4月中旬: 広告・参加申込受付・資格審査 令和6年5月中旬: 公募型プロポーザル方式による業者選定 令和6年6月上旬: 随意契約の締結 令和7年3月中旬: 契約履行期限 令和7年4月1日: システム本格稼働</p>									
実施期間	令和6年5月～令和7年3月									
効果	<p>電子カルテシステムが導入され8年が経過(耐用年数が経過)しており、故障・不具合のリスクが年々高まっている。修繕費の支出の増加に加え補修部品の供給が終了しており、部品交換の故障の場合、診療業務に影響する可能性が高いため、システムを更新することにより安全かつ安定的な医療提供に努めることができる。また、職員の業務の効率化及び負担を軽減することができる。</p>									
SDGs 関連項目	<p>3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくりを</p>									

事業概要書

予算科目	款	1	項	1	目	2	中事業名	委託料		
事業名等	空調機器等改修工事実施設計業務							予算計上額	7,386 千円	
概要	<p>志摩市民病院旧館(H9年度築)、新館(H20年度築)における照明機器のLED化や空調機器及びキュービクル等の老朽化が著しいため、令和7年度の改修に向けての実施設計を行う。</p> <p>旧館・・・空調機器(12年経過／H24年度機器のみ入替)、照明機器・キュービクル(27年経過／キュービクルは耐用年数超)(キュービクルは旧館に1箇所のみ)</p> <p>新館・・・空調機器(16年経過／故障多々あり)、照明機器(16年経過)</p>									
目的	耐用年数を超過している施設設備を計画的に改修していくことで、市民病院を利用する患者やその家族に対し、安心安全な医療サービスを提供することを目的とする。									
必要性	旧館、新館の空調機器は耐用年数を経過し、近年不具合が多々出てきており、多額の修繕料が毎年必要となってきたとともに、キュービクルについても耐用年数を経過しており、空調機器の改修と同時に改修が必要である。また、照明機器の安定器等の修理部品のない不具合が出ている。このような状況を踏まえ、各種機器が万が一使用できなくなると、患者の生命に関わってくるため、施設の維持管理に必要な改修を行う。									
計画	<p>【実施設計】</p> <p>令和6年5月：入札・契約締結</p> <p>令和6年11月：履行期限(令和7年度当初予算編成までに)</p> <p>【工事】</p> <p>令和7年5月：入札・契約締結</p> <p>令和8年3月(完了予定)</p>									
実施期間	令和6年度～令和7年度									
効果	キュービクルの改修による安定した電力供給、空調機器による病室内等の安定した温度管理や電力量の削減、LED化に伴う安全な治療や電力量の削減が可能である。									
SDGs 関連項目	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>									